

「知っ得!」

「企業誘致」

Q&A



Q

企業進出の
メリットは?

A

企業の進出メリットは、災害が少なく自然豊かな工業団地です。輸送をスムーズにする交通アクセスをはじめ、通勤圏内に大学4校、高専1校、工業系高校4校と優秀な地元の人材が豊富。さらに地震などの災害が少ない安全性の高い立地、自然公園やゴルフ場、テーマパークなど、生活環境も優れています。職場環境はもちろん、働く人たちの充実した豊かな暮らしも可能にするのが西海市の魅力です。

Q

企業進出時の
優遇処置は?



A

土地を対象にした投下固定資産額×5～20%(県:設備・建物とあわせ限度額20億円)、設備・建物対象の生産設備投下固定資産額5～20%(県:設限度額20億円)。地元採用の雇用には県から新規50万円(正社員の場合、限度額5億円)、市から新卒50万円、中途30万円(いずれも正社員の場合、限度額2000万円)。ほかにも、不動産所得税や固定資産税など税制優遇処置、対象経費70%の資産融資があります。



西彼杵高規格道路の第2西海橋(上)と、小迎IC付近(左上)、パールテクノ西海から一番近い大串IC(左)。

を企業誘致の柱として整備しています。土地企業への優遇処置として補助金・奨励金、税制などの優遇、融資制度を設けています。工業団地までのインフラ整備も進んでおり、近い西彼杵高規格道路・大串ICまで車で約15分です。西九州道路大塔ICへの接続も近く、九州や関西、関東へのスムーズな輸送も可能です。30年以内に震度6弱以上の地震の発生確率も低く、安心安全な企業運営に取り組めます。

旧長崎オランダ村活用事業は、地域住民による催事などによって再生への機運が受け継がれ、現在、地元企業が主体となつて再生に取り組もうとしています。行政側のさまざまな再生へ向けた取り組みはもちろんですが、西海市民や近隣市町からの期待も大きく、1日も早い再生が待ち望まれています。

企業の進出や誘致は、まちの力強さを作り出し、人の元気につながっていきます。市民全員が西海市の営業マン、それが西海市です。

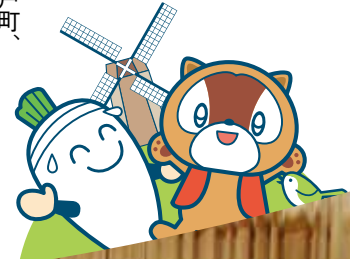
企業誘致で2011年から出荷が始まった「ミスズライフ」で働く西海市出身の小嶋魅呼さんと山崎衣利奈さん



これまでの歩み

—これまで—そしてこれから—

◎初代市長・山下純二郎



平成17年度
17年 4月 ●西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の5町が対等合併して「西海市」が誕生
17年 7月 ●県政タウニングミーティング in 西海を開催
17年 10月 ●西海市合併記念式典開催
18年 3月 ●西海パールライン・新西海橋が開通

平成18年度
18年 7月 ●北海道広尾町との姉妹市町提携調印
18年 10月 ●ザナッティ元駐日ポルトガル大使が西海市に訪
18年 12月 ●青空知事室 in 西海市で金子原一郎知事が来訪

◎第2代市長・田中隆一

平成21年度
21年 10月 ●西海市のシンボル5種類が決定(表紙を参照)
21年 11月 ●合併5周年記念式典を開催

平成22年度
22年 6月 ●西海市施設民間移譲選考会の最終答申を受け、西海市立病院・特別養護老人ホームやすらぎ荘・崎戸緑園の3施設の民営化が決定
22年 7月 ●西海市のマスコットキャラクター「さいかいタンギーくん」(ゆで☆(ぼし)大ちゃん)が誕生
22年 11月 ●青空知事室 in 西海市で中村法道知事が来訪
22年 11月 ●(株)ミズスライフ立地協定調印式を行う
22年 11月 ●第1回の西海大鍋まつりを開催
23年 1月 ●大島大橋早期無料化実現期成会創立総会開催

平成23年度
23年 4月 ●大島大橋無料化スタート
23年 9月 ●(株)ミズスライフ西海工場が始動
23年 10月 ●天正遣欧少年使節ゆかりの宮崎県西都市と相互交流都市提携、姉妹都市盟約を締結

24年 4月 ●西海北中学校と西海南中学校が統合し「西海中学校」が誕生
24年 5月 ●米海軍との消防援助協定を締結

都市提携



- Nov 2012 ● Agreement concluded with Kyushu Defense Bureau on the Management of Yokose LCAC Facility
- Mar 2013 ● Opening of National Route No. 206 (Komukae Bypass)
- Mar 2013 ● Start of Yokose LCAC Facility operation
- Apr 2013 ● Startup of Saikai City Sludge Treatment Center
- Apr 2013 ● Seto Elementary School, Matsushima Elementary School, Taira Elementary School, and Yukinoua Elementary School Kōbutsu Branch School were integrated, and "Ōseto Elementary School" was established
- Apr 2013 ● Merger of Osaki Junior High School and Sakito Junior High School to form Osaki Junior High School and start of integrated secondary education through combination with Prefectural Osaki High School
- Oct 2013 ● Prefectural Governor Hodo Nakamura visits the city for Open-Air Prefectural Governor's Office in Saikai
- May 2014 ● Ceremony commemorating the 10th anniversary of the city

- Oct 2014 ● Nagasaki Ganbaranba National Sports Festival, with rhythmic gymnastics game held in Saikai City
- Apr 2015 ● Saikai City Recycling Center opened
- May 2015 ● NHK Noto Jiman (Amateur Singing Contest) was held to commemorate the 100th anniversary of the municipal system of Saikai City
- Jul 2015 ● Saikai City Tanka Center Opened
- Apr 2016 ● Saikai Nishi Elementary School and Saikai Minami Elementary School were integrated, and "Saikai Elementary School" was established
- Sep 2016 ● Basketball player Renshi Chokai from Saikai City participated in wheelchair basketball games of the Rio 2016 Paralympic Games as a national member of Japan
- Oct 2016 ● The 29th All Japan Health and Welfare Festival (Nenrinpic Nagasaki 2016) was held. In Saikai City, the Igo Exchange Games were held

◎Third mayor: Yasuhiko Sugizawa

平成29年度

◎第3代市長・杉澤泰彦

平成28年度

平成27年度

平成26年度

平成25年度

平成24年度

28年	28年	28年	27年	27年	27年	26年	26年	25年	25年	25年	25年	25年	25年	24年	24年	24年	24年	24年
10月	9月	4月	7月	5月	4月	10月	5月	10月	4月	4月	4月	3月	3月	11月	10月	10月	7月	7月
●第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねりんピック長崎2016）を開催 西海市では囲碁交流会が行われた	●西海市出身の鳥海連志選手がリオデジャネイロパラリンピックの車椅子バスケットボール競技に日本代表選手として出場	●西海市立大瀬戸小学校と西海南小学校が統合し「西海小学校」が誕生	●西海市炭化センター供用開始	●市制10周年記念「NHKのど自慢」が開催された	●西海市リサイクルセンター供用開始	●長崎がんばらば国体が開催 西海市で新体操競技が行われた	●合併10周年記念式典を開催	●青空知事室in西海市で中村法道知事が来訪	●大崎中学校と崎戸中学校が統合し「大崎中学校」となり、県立大崎高等学校と中高貫教育がスタート	●瀨戸小学校、松島小学校、多以良小学校、雪浦小学校幸物分校が統合し「大瀬戸小学校」が誕生	●西海市汚泥再生処理センター稼働	●横瀬LCAC施設運用開始	●一般国道206号線（小迎バイパス）開通	●九州防衛局と横瀬LCAC施設の運用に関する協定書を締結	●西海市松島架橋早期建設期成会創立総会開催	●宮中献穀拔穂祭開催	●横瀬浦開港450周年記念式典を開催	●「ハマボウ」サミットin西海市を開催



History of Saikai City - Looking Back and Moving on

◎First mayor: Junichiro Yamashita

Apr 2005	●The five towns of Seih, Saikai, Oshima, Sakito and Oseto equally merged to form Saikai City
Jul 2005	●Prefectural Town Meeting in Saikai
Oct 2005	●Commemorative ceremony celebrating the birth of Saikai City
Mar 2006	●Opening of Saikai Pearl Line and the New Saikai Bridge
Jul 2006	●Sisterly ties formed with Hiroo-cho, Hokkaido
Oct 2006	●Visit by former Portuguese ambassador to Japan Pedro Zanatti
Dec 2006	●Prefectural Governor Genjiro Kaneko visits the city for Open-Air Prefectural Governor's Office in Saikai

◎Second mayor: Takaichi Tanaka

Oct 2009	●The 5 symbols of Saikai City selected (see cover)
Nov 2009	●Ceremony commemorating the fifth anniversary of the city
Jun 2010	●In response to the final report of Saikai City Committee on Screening of Facilities for Transfer to Private Ownership, privatization decided for Saikai City Hospital and the two special elderly care nursing homes Yasuragi-so and Sakito Ryokufuen
Jul 2010	●Saikai City's mascots Saikai Tangii-kun and Yudebosh-Daichan announced
Nov 2010	●Prefectural Governor Hodo Nakamura visits the city for Open-Air Prefectural Governor's Office in Saikai

Nov 2010	●Signing of business relocation agreement with Misuzu Life Co., Ltd.
Nov 2010	●The First Saikai Onabe Festival
Jan 2011	●Founding Congress of the Group for Toll-Free Use of Oshima Ohashi Bridge To Be Realized at an Early Stage
Apr 2011	●Toll-free use of Oshima Ohashi Bridge starts
Sep 2011	●Misuzu Life Saikai Factory starts operation
Oct 2011	●Mutual exchange partnership and sisterly ties formed with Saito City, Miyazaki Prefecture, founded on shared history of the Tensho Boys' Mission to Europe
Apr 2012	●Merger of Saikai Kita Junior High School and Saikai Minami Junior High School into Saikai Junior High School
May 2012	●Firefighting partnership agreement concluded with the U.S. Navy
Jul 2012	●Hamabou Summit in Saikai City
Jul 2012	●The 450th anniversary celebration and ceremony of the opening of Yokosuka Port
Oct 2012	●Imperial Rice Harvest Ceremony
Oct 2012	●Founding Congress of the Group for Early Construction of the Bridge to Matsushima Island, Saikai City

西海市イメージソング

SAIKAI

作詞：Baby M 作曲：Baby M / SADA

ふと 振り返れば 町中に刻まれた思い出
安らぎ溢れるこの町は いつも優しくて
遠回りしたけど 今なら素直に言えるよ
僕の故郷へ ありがとうの言葉を

今日も太陽が
町を照らすように
一人一人の 笑顔が町を
元気にしてくよ

For you & For me
夢は一人で見るともんじゃない
手と手繋いで
ほら 共に夢を見ようよ

海が見守る 山が支える
風が僕らの背中押すよ
みんなで築いて行こう
輝く未来を SAIKAI

Baby M

ベイビーエム

西海市にゆかりのある歌手「Baby M」が作詞・作曲を手がけたこの曲は、西海市の合併10周年を記念して制作されました。

歴史たどれば見えてくる 情熱のかげら
あの頃の涙は決して 忘れてはいけない
あの橋が島と島を結ぶように
僕らの心にも橋を架けていこう

今日も頑張るよ
希望は捨ててない
明日(あす)の君を守りたいから
前を向いて行くん

For you & For me
夢は一人で見るともんじゃない
手と手繋いで
ほら 共に夢を見よう

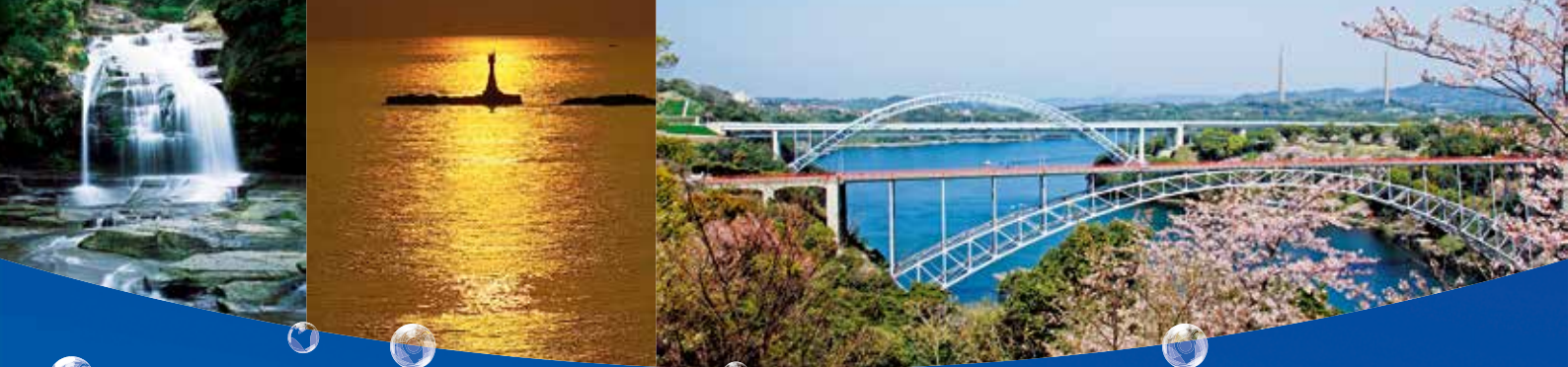
海が見守る 山が支える
風が僕らの背中押すよ
みんなで築いていこう
輝く未来を SAIKAI

誰だってたまには
くじけそうになるけど
また 夕日が心を癒すから
明日(あす)を信じていこう

For you & For me
夢は一人で見るともんじゃない
手と手繋いで
ほら 共に夢を見よう

海が見守る 山が支える
風が僕らの背中押すよ
みんなで築いていこう
輝く未来を SAIKAI





西海音頭

作詞：本田 久美子

外海 内海を つないで渡る
大島大橋 西海橋と
うず潮まねく ふるさとの
甘い みかんの花 薫る
来て来てみんな よかところ
よかよ よかよか 西海音頭

つがねの滝で 水遊び
ほんにきれいな山や海
はまばう 揺れて 黄金色
夏のペーロン 賑やかさ
来て来てみんな よかところ
よかよ よかよか 西海音頭

五島灘に 夕陽が沈む
伊勢海老祭りの 楽しさよ
秋桜揺れる 七ツ釜
神秘の杜の鍾乳洞
来て来てみんな よかところ
よかよ よかよか 西海音頭

遙か昔の 横瀬の浦に
クルス祈りの 平原の郷
真珠色した 雪が舞う
さざんか咲いて四本堂
来て来てみんな よかところ
よかよ よかよか 西海音頭

西海市歌

作詞：井上 久雄 作曲：なかにし あかね

一 船が行き交う 島国は
四季美しい 海のまち
人の心に 橋を架け
未来へ羽ばたく 夢がある
いま新しい 足音が
山河を駆ける 西海市

二 そぞろ歩けば ここかしこ
歴史が今も 光るまち
愛を育む 大地には
生命の息吹が 溢れてる
いま逞しく 育つ子ら
希望に萌える 西海市

三 緑豊かに 風薫り
まつりが空に 響くまち
笑顔よせあい 手をとれば
文化が栄える いつの日も
いまこの胸は 高鳴りて
幸せ築く 西海市

◎3月末～4月上旬

西海橋春のうず潮まつり

Saikai Bridge Park Spring Whirlpool Festival

新西海橋遊歩道は、眼下の大きな渦と公園周辺の約一千本の桜を觀賞する観光客で賑わいます。弁天島周囲には臨時の觀光船も出て、豪快な渦と、ゴォーゴォーと音をたてる潮流を楽しむことができます。



◎3月

桜坂まつり

Sakura-zaka Cherry Blossom Viewing Festival

大瀬戸町松島にある、火力発電所職員住宅につながる約600mの坂道に沿って植えられた桜が、トンネルのように天を覆い、青空と桜色のコントラストを楽しむことができます。

◎4月

とんばんさん

Tonbansan Grand Festival

豊漁や豊作を願う琴平神社の例大祭で、百年以上の歴史を持っています。「とんばんさん」の名称は、その昔、外国船の来航や遭難船を見張るために設けられた遠見番所にちなんだ呼び名です。

◎7月

大瀬戸ペーロン大会

Oseto Peiron Festival

市内や近隣町から多くの見物客が詰めかけて盛大に開催されます。

◎7月

長崎西海トライアスロン祭

Nagasaki Saikai Triathlon Festival

毎年、全国トップレベルのアスリートが訪れ、スイム1.5k、バイク40k、ラン10kを競い合います。また、だれでもが容易にトライアスロンを体験できるよう、一般の部に加え、子ども、初心者向けのコースも用意されています。

◎8月

夏まつり

Summer Festivals

8月には各地でさまざまなイベントが催され、色鮮やかな花火が夜空を彩ります。

心躍る西海

Captivating Saikai Festivities Calendar

四季折々に見せる色とりどりの美景
脈々と受け継がれる活気と伝統





◎9月

さきと伊勢海老まつり

Sakito Ise-ebi Festival

秋の「長崎いせえび三大まつり」のひとつ。
天然の伊勢海老販売や伊勢海老味噌汁サービス
など、遠方から伊勢海老を目指してくる人々で賑わ
います。

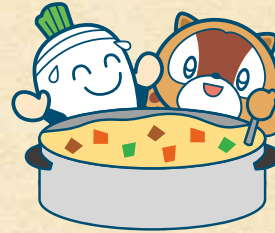


◎10月

浅間神社と秋季大祭

Sengen Shrine and Autumn Grand Festival

獅子舞や神輿、浦安の舞など多彩な行列で崎戸
浦をねり歩きます。



◎11月

西海大鍋まつり

Saikai Onabe Festival

毎年秋に開催される大盛況のまつり。目玉の西海
大鍋には、巨匠上柿元シェフのプロデュースによる
西海市の特産品を使ったあったかい鍋料理が振
舞われます。



◎12月

西海市七釜鍾乳洞 ロードレース大会

Saikai City Nanatsugama Limestone Cave Road Race

七釜鍾乳洞を発着点に、国道202号を折り返す
コースで行われます。



◎1月

やば焼き

Yabo-yaki Bonfire

市内各地では、毎年正月に「やば焼き」が行われま
す。「やば焼き」とは「おんのほね」とか「鬼火たき」と
も呼ばれる伝統行事。大きく山積みされた木や竹
の中にしめ飾りなどを差し込んで火をつけ、餅を焼
き、それを食べたり、灰を浴びたりすると厄よけにな
ると昔から伝えられています。



まち全体が奏でる
鼓動を感じてみる



◎2月

西海町ゆで干し大根杯 選抜少年ソフトボール大会

Saikai-cho Yudeboshi Daikon Cup Invitational Boys Softball Tournament

平成14年度から開催された大会で県内外から多く
のチームが参加し熱戦を繰り広げます。



文化財の

さいかい

歴史の中で

生まれ、育まれ、

そして今日まで守り

伝えられてきた

西海市の貴重な財産。

Cultural assets

Saikai City's precious assets created and developed over many years and handed down to the present day

七釜鍾乳洞

国指定文化財

◎西海町中浦中浦北郷

西海町中浦中浦北郷を流れる江川内川左岸にある。観光鍾乳洞として公開されている清水洞をはじめとする10の鍾乳洞の総称。長崎県唯一の鍾乳洞である。多くの鍾乳洞が古生代にできた地層に分布しているのに対し、新生代第三紀海成層を母岩としている。母岩である砂岩層の溶食作用が見せる特徴は、新生代以降の地殻変動によって海から隆起したことを示している。昭和11（1936）年、国の天然記念物に指定された。



Nanatsugama Limestone Caverns

[Designated as a national cultural asset]

Nakaurakita-go, Nakaura, Saikai-cho

Ten caverns on the left bank of the Egawachi River that runs through Nakaurakita-go area of Nakaura, Saikai-cho, are collectively called the Nanatsugama Limestone Caverns. One, Shimizu Cavern, is open to sightseers. These caverns are the only limestone caverns in Nagasaki Prefecture. While a majority of caverns are found in Paleozoic strata (541-252 million years ago), these caves developed in Paleogene marine strata (66 to 23 million years ago). The characteristic shapes of limestone created by sandstone erosion show that the area surrounding the caverns was elevated from the sea through crustal movement during the Cenozoic Era (66 million years ago to today). The Caverns were designated as a national natural monument in 1936.

ホゲット石鍋製作遺跡

国指定文化財

◎大瀬戸町瀬戸羽出川郷

石鍋とは、軟質で加工しやすく保温性に優れた鉱物である滑石を素材とした容器で、古代から中世にかけて煮炊きに使用された道具である。西彼杵半島を中心として製作された石鍋は、本州から南西諸島まで広範囲に流通したと考えられている。

西彼杵半島の山中には滑石の露頭が多く、現在70箇所を超える石鍋製作遺跡が確認されている。そのうち、最大規模のものがホゲット石鍋製作遺跡で、11を数える石鍋製作遺跡が集中し、第6石鍋製作遺跡では、高さ約6メートル、幅約60メートルの滑石の壁面に、石鍋の製作途中のものや削り取った窪みが数多く見られ壮観である。昭和56（1981）年、国の史跡に指定された。

Hogetto Stone Pot Production Site

[Designated as a national cultural asset]

Setohadegawa-gō, Oseto-cho

Stone pots are made of talc, a soft and manageable mineral with the ability to retain heat. These pots were used for cooking from ancient times to medieval times. It is thought that stone pots created in and around the Nishisonogi Peninsula were widely distributed, from the main island of Honshu to the Nansei Islands.

In the hills of the Nishisonogi Peninsula are many spots where talc strata are exposed. More than seventy stone pot creation sites were found in this area. The largest among these sites is the Hogetto Stone Pot Creation Site, itself consisting of eleven separate stone creation sites. At the 6th Stone Pot Creation Site, you can observe a spectacular talc wall six meters high and 60 meters wide. You can also observe pots still in the process of production and alcoves in the talc wall, made by excavating the stone. The Hogetto Stone Pot Creation Site was designated as a national cultural asset in 1981.



Hirabaru Christian Tombstone

[Designated as a prefectural cultural asset]

Hirabaru-gō, Seihi-cho

Two tombstones are designated as prefectural cultural assets. One of them are made of natural stone (height: 55cm, width: 74cm, depth: 22cm). In the center of the tombstone, the mark of the "flower cross" is inscribed. The letters "INRI" (Latin: Iēsus Nazarēnus, Rēx Iūdāeorum), which means "Jesus the Nazarene, King of the Jews," are inscribed above the flower cross.

文化財に指定されている2基のうち、1基は高さ55センチ、幅74センチ、厚さ22センチの温石の天然石である。墓碑面中央に花十字の紋、その上に「INRI」と刻まれている。INRIとは「Jesus Nazarens Rex Iudaeorum（ユダヤの王ナザレのイエズス）」の意を表す。

◎西彼町平原郷

県指定文化財

平原キリシタン墓碑



文化財の さいかい

◀南蛮船来航の地

県指定文化財

◎西海町横瀬郷

1562年、横瀬浦は南蛮貿易港として開港された。ポルトガル船とともに入港する商人たちは関税を10年間免除され、港には司祭の許可なく異教徒が住むことは許されず、港の周囲2レグア（1レグアは、約5km）の半分を教会が所有するものと定められた。横瀬浦には、教会が建設され、キリスト教徒や商人たちが集まり、港は繁栄したと伝わる。

Landing point of the first nanban ships

[Designated as a prefectural cultural asset] Yokose-gō, Saikai-cho

In 1562, a port at Yokoseura opened for European traders. During the first ten years, merchants who came to Yokose by Portuguese ships were exempted from customs duties. It was decided that non-Christians were not allowed to live in the area surrounding the port without obtaining permission from the priests. It was also decided that half of the area of 2 legua (10 km) radius from the port belonged to the church. Many Christians and merchants gathered in Yokoseura, where a church was built, and the port prospered.



▼平島ナーマイドー

県指定文化財

◎崎戸町平島

江戸時代、平島の浄専寺の僧と庄屋の娘が心中した。ナーマイドーは、その供養と島内の安全を念ずる仏教行事として始まったと伝わる。身を投げたとされる清水観音近くの断崖の下には、2人の冥福のため建立されたと考えられる浄土三部経の「三字石塔」がある。「三字石塔」とは、小石に経典の文字を1字ずつ書き、それをまとめて清水観音の境内で藁縄を数珠に見立てた大綱となし、行列して、「ナーマイドー（南無阿弥陀仏）」と唱えながら、島内を引き回した後、大綱を海に流す、というものである。

Hirashima Namaido

[Designated as a prefectural cultural asset] Hirashima, Sakito-cho

In the Edo period, a priest of Josen Temple and a daughter of the village leader committed a double suicide. It was said that the Namaido first began as a Buddhist event to pray for their souls and wish for the safety of the island.

Under the cliff near Kiyomizu Kannon Temple, from where the couple threw themselves, a pagoda believed to be built to pray for them stands. This pagoda is made of pebbles carved with one letter from "Three Sutras of the Pure Land." In the Namaido festival, a thick straw rope representing prayer beads is created in the precincts of Kiyomizu Kannon Temple. People parade through the island, dragging the rope and saying the prayer "Namaido (Namu Amida Butsu)" and then release the rope into the sea.



▲西彼杵半島猪垣基点

県指定文化財

◎西海町中浦北郷

猪垣とは、猪や鹿などの食害から田畑を守るため築かれた石垣である。文化財に指定されている玄武岩の基点石には「享保七〇寅年」（1文字は約10cm角。□は剥げ落ちて解読できない部分）と2行にわたる刻字がある。『郷村記』の中浦村の猪垣についての記事を意識すると「外海の山に猪や鹿が繁殖して田畑の作物を荒らすので、村中の人々が協議して享保7年（1722）6月から石垣を築いた。この工事が達成すると、荒れた野原で田畑が

◀ 中浦ジュリアン出生の地

県指定文化財

◎ 西海町中浦南郷

西海市西海町中浦南郷の「館」と呼ばれる指定地が、天正遣欧使節の一員であった中浦ジュリアンの出生の地と考えられている。

中浦ジュリアンは有馬のセミナリヨ(神学校)で学び、伊東マンシヨ、千々石ミゲル、原マルチノらとともに使節に選ばれた。天正10年(1582)にヨーロッパへと海を渡り、諸国で歓待を受け、ローマ教皇との謁見を果たした。

その後イエズス会に入会し、マカオで学んだ後、禁教下の日本で布教活動を行なったが捕らえられ、寛永10年(1633)に長崎の西坂で殉教した。

The Birthplace of Julião Nakaura

[Designated as a prefectural cultural asset] Nakauraminami-gō, Saikai-cho
The Tachi area in Nakauraminami-gō, Saikai-cho in Saikai City is believed to be the birthplace of Julião Nakaura, a member of the Tensho embassy sent to Europe. Julião Nakaura studied at the Seminario in Arima. He was chosen as an embassy member, together with Mancio Ito, Miguel Chijiwa, and Martinão Hara. In 1582, the embassy left for Europe by sea. They were warmly welcomed in the countries they visited, and received in an audience by the Pope. Later he joined the Society of Jesus and studied in Macao. He began missionary work in Japan where Christianity was forbidden. In 1633, he was arrested and martyred in Nishizaka, Nagasaki.



▼ 多以良の小佐々氏墓所

県指定文化財

◎ 大瀬戸町多以良郷

小佐々氏は多以良を本拠とし、西彼杵半島北部外海地域から五島灘の島々を支配していたといわれる。のちに大村家のもと、中浦・七釜・多以良などを知行した。幕藩体制が確立されるにつれ、大村城下の家臣団に組み込まれていったが、多以良村は江戸時代の終わりで小佐々氏の知行地であった。『郷村記』の多以良村の「古廟之事」に「小佐々先祖墓」として切石の平塚、切石の墓が2つ、大小墓が2つ、石灯籠が2基あるとして、その形状とともに記されており、現存する墓石、石灯籠の形状とほぼ一致している。

Tombstones of the Kosaza Family in Taira

[Registered as a prefectural asset] Taira-gō, Oseto-cho
The Kosaza family based in the village of Taira ruled the area from Sotome of the northern end of the Nishisonogi Peninsula to islands in the Goto-nada Sea. Later, the family owned Nakaura, Nanatsugama, and Taira under the rule of the Omura family. As centralized feudalism became established, the Kosaza family became a vassal of the Omura family. Until the end of the Edo period, however, Taira Village continued to belong to the Kosaza family. An old document called Gōsonki (Village Chronicles) mention in the section "Tales of Ancient Shrines" of Taira Village that there are "tombstones of the Kosaza family" consisting of a flat stone grave marker, two cut-stone tombs, a set of large and small tombs and two stone lanterns. The shapes of tombstones and lanterns described in the book are almost the same as existing tombstones and lanterns.



Nishisonogi Peninsula Wild Boar Fence Starting Point

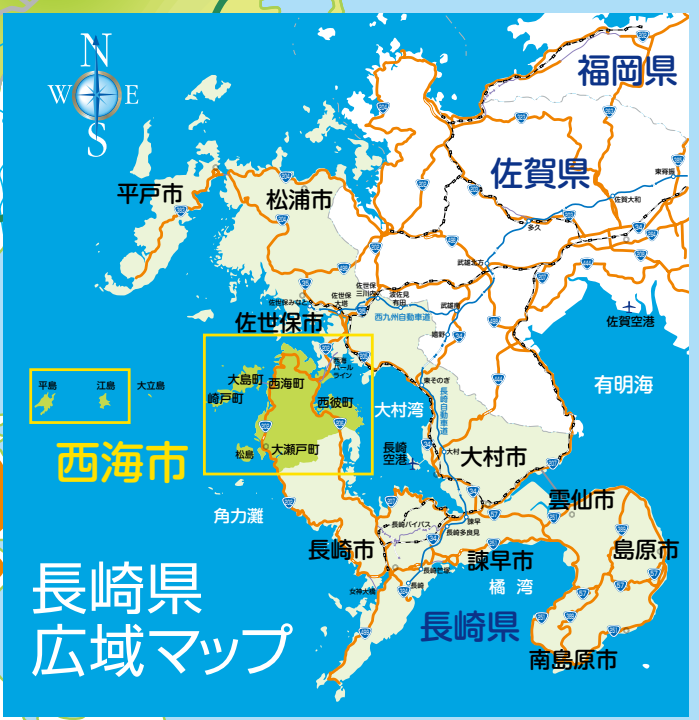
[Designated as a prefectural cultural asset]
Nakaurakita-gō, Saikai-cho
Shishigaki (wild boar fencing) was built to protect rice paddies and vegetable fields from wild boar and deer. The basalt starting-point stone designated as a prefectural cultural asset is inscribed with two lines of letters "享保七" 寅年 (the 7th year of Kyōhō, the Year of * Tiger)" (Each letter is 10 cm high and 10 cm wide, and "*" indicates missing letters.) An old document called Gōsonki (Village Chronicles) explains the wild boar fences in Nakaura Village: "The number of wild boar and deer increased in the hills of Sotome, and they damaged the crops. Villagers had a discussion and decided to build fences. The fence construction began in June 1722. When the fences are completed, they can turn farmland damaged by wild animals into adequate areas of rice paddies and vegetable fields. The construction began in Nakaura Village, but the same construction started in Otawa, Nanatsugama, Taira and Seto, too."

余る程、出来上がるはずで、中浦村から工事を始めたところ、順を追って太田和、七釜、多以良、瀬戸でも同様に工事がなされた。」となる。





さいかいイラストMAP





平島

江島

パルプストーン

崎戸町

大島町

崎戸町

大瀬

松島

- トイレ・車椅子トイレ
- コンビニエンスストア
- 直売所
- ガソリン
- 学校
- 九州自然歩道

市長メッセージ

西海市は、日本列島の西端に位置する長崎県にあつて、西に五島灘や角力灘、東には波穏やかな大村湾に面した西彼杵半島の北部に位置し、半島本土に加えて、五島灘には多くの島嶼部も有しています。

そして「部が」「島々の王国」と称される西海国立公園の五島列島エリアも指定されており、多くの島々と複雑に入り組んだ、海岸線が素晴らしい景観をつくり出しています。

当市は、この地域に位置した5つの町が、平成17年4月1日に対等合併して誕生した新しい市であります。

地域ごとに多様な産業形態や風土を持ちながらも、徐々に市としての一体感を得ており、今後、更なる魅力的なまちづくりに向けて邁進してまいりたいと考えているところです。

また、このたび合併後13年目を迎え、これまでに得た情報や時代の流れとともに変化していく課題に対応すべく第2次西海市総合計画を策定したところです。将来像を「活躍のまち さいかい」と位置付け、将来にわたって持続的に発展していくために市民、市内産業、地域が誇りを持ち活躍することにより様々な課題を解決していきたいと考えています。

それによって、誰もが住みたくなる、住みつけたいとなるまちづくりに取り組んで参りますので、ぜひ多くの方々にこの市勢要覧をご覧いただきますとともに、いろいろな場面で活用いただきながら、更なる西海市発展のため、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

活躍のまち さいかい

Saikai: a City of Playing Active Roles

Mayor's Message

As a part of Nagasaki Prefecture, which is located at the western end of the Japanese archipelago, Saikai City is in the northern part of the Nishisonogi Peninsula that faces the Goto-nada Sea and Sumo-nada Sea to the west, and the calm Omura Bay to the east. In addition to the main land of the peninsula, the city has many islands in the Goto-nada Sea.

One part of the city area is designated as the Goto Islands Area of Saikai National Park, and known as "the Kingdom of Islands." Here, a multitude of islands and indented coastline create a beautiful landscape.

Saikai is a new city that was established on April 1, 2005 by merging five towns located in this region on an equal footing.

While each area of the former five towns has its own distinctive industrial form and climate, the city has gradually acquired a sense of unity as a city. We are determined to work harder than ever to develop ourselves as a more attractive city.

With our city marking the 13th anniversary of its establishment after the merger, we have just formulated the Second Saikai City Comprehensive Plan in order to respond to issues changing over time and in response to information we have obtained so far. To develop our city sustainably in the future with the future image of "Saikai: a City of Playing Active Roles," we would like to solve various issues together with our residents, industries, and communities playing their active roles with pride.

It is our goal to build a city where everyone wants to live and stay. I hope many people will read this Saikai City factbook, and use it in various situations. I also hope you will continue to support us in further developing our city.

西海市長

杉澤 泰彦

Yasuhiko Sugizawa





沿革

永禄5年（1562年）、日本最初のキリシタン大名である大村純忠（1533年～1587年）が横瀬浦（西海町）にポルトガルとの貿易港を開港したことから、本市は南蛮貿易やキリスト教とゆかりの深い歴史を持っています。また、江戸時代には大村藩に属しており、大村藩の捕鯨基地としても栄えました。

その後は、炭鉱全盛時代と石炭から石油へのエネルギー革命による炭鉱閉山の歴史を持ち、各所に当時を偲はせる炭鉱遺跡が残っています。

町村制が施行された明治22年4月時点では、13村で構成されていましたが、その後の合併、編入、町名変更を経て昭和44年1月に西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の5町構成となり、平成17年4月1日に5町が対等合併し西海市となりました。

History

In 1562, a trade seaport was opened in Yokose-ura (Saikai-cho) by Japan's first Christian daimyo, Sumitada Omura (1533-1587). Due to this historical background, Saikai has longstanding historical ties with trade with Europeans, and with Christianity. In the Edo Period, Saikai became part of the Omura domain and thrived as a whaling port.

Later, the city experienced a period of prosperity from coal mining and the subsequent closing of the mines with transition from coal to petroleum as the principal source of energy. Historical monuments from the coal mining age can be found in various parts of the city.

In April 1889 when incorporation into towns and villages took place, the area consisted of 13 villages, which were later merged, reorganized and renamed. In January 1969, it became consisted of the towns of Seih, Saikai, Oshima, Sakito and Oseto. On April 1, 2005, the 5 towns were equally merged to form Saikai City.

西海市市勢要覧 Saikai City Outline

さいかい力

目次 CONTENTS

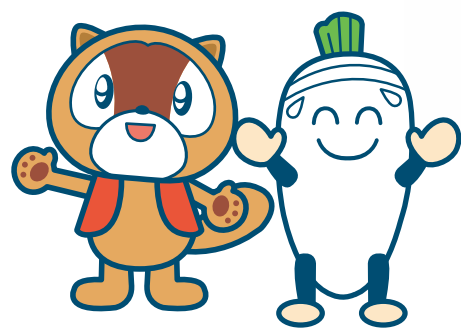
「さいかい力」でまちづくり

まちづくりの基本構想	02
◎自然・食・歴史のまちづくり	
自然・歴史のさいかい力	04
食・産業のさいかい力	06
◎安全のまちづくり	
安全・安心のさいかい力	08
◎健康・子育てのまちづくり	
健康のさいかい力	10
子育てのさいかい力	12
◎企業誘致の実現	
企業誘致のさいかい力	14
西海市合併	
これまでの歩み	16
－これまで－そしてこれから－	
西海市イメージソングSAIKAI	18
西海市歌・音頭	19
西海“彩”時記	20
西海市内の主な文化財	22
“さいかい力”マップ	26
市長メッセージ	28

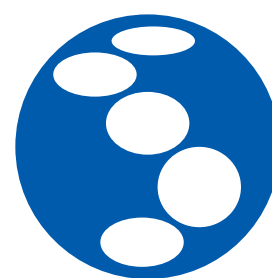


さいかい

—さいかいりよく—



活躍のまち さいかい



市章

西海市のイニシャル「S」をモチーフにデザイン化し、「人と自然が元気な力強い産業と交流のまち」をイメージし、未来に向かって発展する市を親しみやすくシンボライズしました。5つの円は合併した「5町」を意味しています。

2017年 西海市市勢要覧 Saikai City Outline

発行：長崎県西海市
発行日：平成29年6月
編集：西海市役所
製作・印刷：(株)昭和堂

